

森



の ささやき

会員ジャーナル 第15号

2021年1月 発行



NPO法人
北海道に森を創る会



コロナに負けるな!!! の決意の下、恒例の「未来の森・函館の育樹祭」に参加された皆様

発行：NPO法人北海道に森を創る会事務局

〒064-0808 札幌市中央区南8条西2丁目5-74
(市民活動プラザ星園405号)

電話 090-1385-5946

Eメール moriotukuru@nifty.com

ホームページ <http://WWW.moritukuri.ORG/>

*パソコン/スマホの何れも"北海道に森を創る会"で検索可

北海道社会貢献賞の受賞報告

この度当会理事の齋藤サダさんが、北海道社会貢献賞（森を守り緑に親しむ功労者）を受賞されました。この賞は、永年にわたり緑化や森林環境教育の推進、森林の保全など、森づくりの功績に贈られるもので、同功労者（4団体1個人）の一人として表彰されました。

当会主催の未来の森・函館の植樹祭、育樹祭においても、一昨年

に「森と人を育てるコンクール北海道知事最優秀賞」を受賞した国の華幼稚園（函館市）と当会のパイプ役による世代を超えた森づくりの定着や長年にわたる美味しい豚汁の



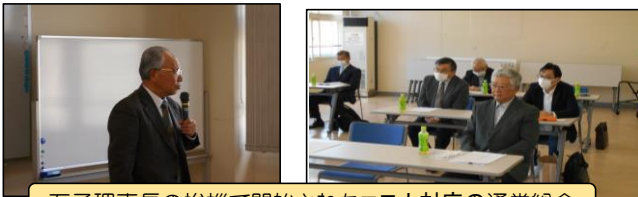
の提供に加え、当会運営に関する女性目線の提言など重要な役割りを担っております。感謝とともにお慶びを申し上げます。

令和2年の主な活動報告

(1) 令和2年度通常総会

開催日:4月28日 出席者:13名 場所:市民活動プラザ星園

* 新型コロナウイルスの予防策として議案書(案)を予め郵送のうえ、出席希望者を募り開催され、出席13名、委任4名、書面表決58名により可決されました。併せて、木戸口和裕氏、根布谷禎一氏の理事就任が承認されました。



石子理事長の挨拶で開始されたコロナ対応の通常総会

(2) 未来の森・函館 さくらの樹病診断調査

実施日:10月2日 調査者:木戸口樹木医を含む理事4名

* 植栽済の約150本の桜を対象に樹病を診断した結果、以下の状況が判明し、伝染防止に向けた処理を施しました。

- ・サクラてんぐ巣病15本、⇒ 枝葉整理
- ・サクラこぶ病15本、胴枯れ病7本 ⇒ 伐倒処理

◎伐倒作業は、当会の函館支部若松理事（函館造林企業組合理事長）のご好意により実施されました。



こぶ病やテング巣病などがまん延し、伐倒されたサクラ

(3) 未来の森・函館 秋の育樹祭

開催日:10月29日 参加者:19名

北海道渡島総合振興局渡島東部森林室、同振興局林務課 函館サンモリッツクラブ、当会函館支部の皆様が参加

* コロナ禍の予防対策として、今回は函館支部が主体で開催し、大勢の地元の皆様と協働で下記の作業などに取り組みました。

- ・桜の野鼠防止用袋かけ、栗やヤマボウシなどの冬囲い
- ・鹿対策を兼ねたヒバ立ち木の下枝伐り

◎野鼠防止用の薬剤散布作業は、11月20日に中川函館支部長により実施されました。



ヒバの下枝切りや桜の野鼠防止用袋がけに勤しむ参加者

<写真提供> 渡島東部森林室普及課

令和3年の主な予定

本年の主な行事予定を紹介します。

詳細が決まり次第、別途お知らせいたします。

(1) 令和3年度通常総会

* 開催日:4月下旬 場所:市民活動プラザ星園(札幌市)

(2) 未来の森・函館

* 春季行事:5月 秋季行事:10月

(3) 令和記念の森・八雲

* 現況の再調査および現地検討会 実施日:5月

(4) 北海道さくらセミナー・2021

* 主催:実行委員会(当会を含む4団体で構成)

開催日:8月 場所:かでの2・7 かでのホール(札幌市)

(5) 全国育樹祭の「お手入れ行事」に参加

開催日:10月9日(土) 場所:苫小牧市 和みの森

今後の展望

(1) 森林トラストによる森づくりの推進

- ① 未来の森・函館、茨木記念の森・月形・ニセコ
- ② 令和記念の森・八雲、濱田記念の森・砂川 他

(2) 森林トラストの掘起こしおよび促進

- ① 荒れたの山林の取得、賛助者の募集
- ② 寄贈予定森林の調査、企画

(3) 森林・樹木葬モデル確保と森づくり支援

(4) インバウンドによる旅行記念植樹の支援

(5) 道内各地の「元気な森」支援



編集後記

昨年は、猛威を振るったコロナ禍に多くの人々の「いつも」が奪われました。当会もご多分に漏れず、予定の中止や延伸、簡素化などを余儀なくされ、本誌も縮小となりました。そして、地球温暖化問題などと共に、「人類も自然界の一員に過ぎない」と思い知らされる一年にもなりました。

人類がこの難局を切り抜けるには、ワクチンの開発やIT技術などの英知を結集し、結束する必然性が高まっております。

正に、どろ亀さん(北海道の森づくりの祖・高橋延清氏)の”詩集・森の世界”の中の「一種の生き物が森を支配しないように神の定めた調和の世界だ」の意思を汲み、石子理事長が提唱した当会の原点でもある「森づくり」で培われた他人への思いやり、感謝の心が求められる状況にあります。

これらの思考は、人びとの心を捉え空前の大ヒットとなった「鬼滅の刃」や国連サミットで採択となった持続可能な開発目標SDGsの協議の中でも台頭しており、「素晴らしい時代の幕開け」の息吹が感じられます。

編集担当> 理事 岡田隆範